

しんめいばら

回 覧

第 147 号
2017.7.20

定期整備!

七月二日(日) 夜来の土砂降り雨も朝には止み、市より配布をいただいたコリウス、マリーゴールド、ペゴニアなどの苗や種から育てたブルーサルビアを七か所の花壇へ植栽しました。多くの苗が集まり作業の進行具合が心配でしたが、二名の新入会員の活躍もあり、いつものように楽しい会話をしながら、すべての苗を植えることが出来ました。多くの愛護会員はS型テラスービスなど地区のボランティア活動にも積極的に参加をされており、それぞれでも活躍中です。



大きく育つといいね!



親子一緒に頑張りました!(16日)



強い日差しの下で!(16日)

豆知識!

『摘む』

「てき」または「つむ」と読みます。園芸では摘花(てつか)・摘心(てきしん)が使われます。

摘花は花を摘むこと。摘心は植物の先端を摘むことです。摘花(つぼみ)の目的は、①花の数を減らして一つの花を大きく、充実させること。②チューリップなどは、生産者が開花後すぐ花を摘んで栄養を球根に集め、よい球根にして売るためです。花殻摘みは、咲き終わった花をとり除いて植物を美しく見せ、実をつけさせないこと。花を多く、長く楽しむためです。摘心は、上に伸びようとする中心の芽を摘んで脇芽の成長を促し、草の姿を整え、花を多く咲かせるため。摘花・摘心のとき、適量の追肥を施すと、より効果的です。摘花(花殻摘み)・摘心は面倒でも大切な園芸作業です。



「摘心」: 主な茎を葉の上で切り取ると両脇の芽が伸び、花数が多くなる

今日の公園!



鮮やかなグラジオラス!



お知らせ!

- 八月の公園整備は十三日(日)と十七日(日)です。熱中症対策を心掛けてご参加下さい。
- 八月の回収、ピン・缶は二十二日(火)、古紙は二十七日(日)です。町内会の回収活動にご協力下さい。
- 高松神明原公園愛護会は現在二十四名の会員により公園の美化活動に取り組んでいます。どなたでも入会が出来ますので楽しい活動にぜひご参加下さい。

連絡先・一三七五一一一 山本まで